

1 日 時 令和7年11月18日(火) 15:30 ~ 16:15

2 場 所 小平市立学校給食センター 会議室

3 出席状況 出席者: 11名 欠席者: 2名 事務局: 4名

4 傍聴者 なし

5 次 第

(1) 開会

(2) 議 題

○ 報告事項

①令和7年度1学期残食調査の結果について 資料1

(栄養教諭)

・5日間の平均残菜率は資料1のとおり、8校で8.4%です。令和6年度は一中が8.8%、二中が6.4%、三中が6.8%、四中が10.3%、五中が9.5%、六中が12.7%、上水中が8.6%、花南中が7.5%でした。8校中5校は昨年度と比べて減っています。

・残食が多い傾向にあるのが沖縄県の郷土料理、煮びたし、きんぴらでした。五目スープや沢煮椀など具の多いスープや家庭で出さないようなものは残る傾向があります。

また、残食が少ないものはトースト、お肉系、揚げたものです。

・昨年度と比べて特に小平六中がかなり減っています。どのような取組を行ったのでしょうか。

(委員長)

・小平六中は給食委員がありません。校長が朝礼で食について話しました。生徒と職員意識を変えるが大事です。また、PTAの試食会を行っていませんでしたが復活させました。学校だよりに食について掲載したり、生徒会がSDGsについて取り上げました。スキー教室の時に生徒の意識づけをしてから、それ以降よく食べるようになりました。

②食物アレルギー対応について

(事務局) 食物アレルギー対応食は令和6年4月に開始し、1年半経過しましたが、学校からの要望などの声が届いておりますので、一部紹介します。

・4月や長期休み明けの週などはヒヤリハットや事故が起こる可能性が高いため、対応食のある献立は避けてもらいたい。こちらについて、給食センターとしては可能な限り対応したいと考えております。また、4月は引き続きとなりますが、新1年生の「対応食連絡表」のやり取りをする期間が必要であるため、対応食のある献立は3週目以降に提供したいと思います。

・1日の献立において除去する食材は1種類1品にしてもらいたい。こちらについては、学校給食には「食品構成」という基準に基づいて献立作成しており、食物アレルギー対応を前提としておりませんので、対応は出来ない状況です。引き続き、詳細献立表と対応食連絡表を確認しながら、学校の方で対応いただきたいと思います。

・何のアレルギー食材が入っているかが分かる献立名にしてもらいたい。こちらについて、アレルギー対応の4品目を全ての献立名に入れると、例えば「ポークカレー」の場合、「バター入りポークカレー」などのように長くなってしまい、かえって混乱することが想定されます。現在、対応4品目については、詳細献立表の右側欄に「特定原材料」欄を設け、そちらに記載しておりますので、比較的わかりやすく確認できものと考えています。

・今後も引き続き、給食センターと学校とで情報共有を図りながらよりよい食物アレルギー対応食の提供を心掛けてまいりたいと考えております。

(質疑応答) なし

○ 協議事項

令和8年度の学校給食費について

資料2

(事務局) 資料2をご覧ください。学校給食費の改定は令和6年度に行っています。令和4年以降、急激な物価高騰が続いており、10年ぶりに給食費単価の約19.5%増額しました。中学校では300円から358円となりました。

・学校給食費の無償化について、令和6年度に東京都の補助制度が創設され、都からの補助支援の目途が立ったことなどから無償化を実施し、今年度も引き続き無償化を実施しています。

・続いて、物価高騰への対応について、令和6年度の改定以降も物価高騰が続いており、特に米価の上がり幅が大きく、給食の質を維持するために本年度は給食費の約6.9%の上乗せ補助を行っています。中学校では1食あたり382円となっています。

・令和8年度の学校給食費について、無償化に必要な予算は今年度ベースで小・中学校合わせて約8億6千万円計上しており、このうち約8分の7を東京都の補助支援を見込んでいます。無償化を継続するためには国や東京都の補助金の交付が前提であると考えており、現在は補助金の動向を注視しています。

・物価高騰への対応について、現在も給食食材の物価高騰が続いており、予断を許さない状況です。表のとおり、米、卵、その他の食材も値上がりしています。令和8年度においても、これまで実施してきた増額改定や補助金の交付などの対策が必要ではないかと考えているところです。

(質疑応答)

(委員) 学校給食費への補助金の上限額があると思いますが、物価高騰に見合った上限額となっているのでしょうか。

(事務局) 現在、東京都から補助金をいただいています。昨年10月と今年度当初に補助の上限額が上がっており、現在のところ上限額の範囲内に収まっています。都の上限額は4月以降、改定等の知らせはありません。今後、給食費の単価を上げることになれば、都の上限額を超える可能性はありますが、都や近隣自治体の動向も注視していきたいと思っています。

(委員) 牛乳が値上がりしているので、牛乳を他のものに変えて食材費を捻出することは可能でしょうか。

(事務局) 牛乳は変えることは考えていません。栄養価の面で考えると牛乳を他の食材に変えてしまうと、かえって食材費が高騰する可能性があります。

(委員) お米が値上がりしていますが、ご飯の回数が少なくなることはあるのでしょうか。

(事務局) お米がかなり高くなっていますが、給食費も補填されているので何とかやりくりできています。お米が今後どれだけ上がるのかはわかりませんが、ご飯の回数を減らすことは現在考えていません。

○ その他連絡事項

①各委員よりご意見・情報提供

(委員) 上水中の残食率が高いことについて、保護者などに伝えてもよろしいでしょうか。

(事務局) 各学校へ配付している資料であるため、問題はありません。

(委員) 嫌いなものや苦手なものを指導して残食率を下げることは難しいので良い指導方法を教えていただきたい。

(事務局) 運動部には特に前向きな指導をしています。また、1年生のうちから給食指導をすることが重要と考えています。根気強く、職員一丸となって指導していくことが大事です。しかし、生徒との関係性がないとなかなか難しいのが現状です。

(委員) カレーの日など、生徒が好きなものはしっかりと食べています。どろどろとした献立や、すべて茶色の時は警戒しながら食べています。小平六中の取り組みを各学校にも紹介したら良いと思います。食育リーダーへの研修等も良いと思います。

(委員長) 小平の給食はおいしいと思います。給食が不登校の生徒の背中を押すような状況があります。あゆみ教室では給食がないので給食センターで提供するなど、おいしい給食を届けられたら良いと感じています。

(委員) 子どもは煮びたしやきんぴらが好きです。家庭で食べないとその後の人生でも食べる機会がなくなると思いますので残食率が高くても、そのような料理もなくさずにこれからも給食で提供していただきたい。

(事務局) 献立の幅が広がるので、残食が多くても、今後も提供していきたいと思います。

(委員) アレルギー対応について、献立名の表示を工夫してもらいたい。保護者の責任で確認する必要があるが、見えない食材は思い込みなどで確認がもれてしまうことも考えられます。献立によっては3つの料理にアレルゲンが入っており、食べられない生徒がかわいそうに感じます。できるだけ、給食センターで気にしていただければと思います。

(委員長) 給食センターで可能な範囲で対応をお願いします。

(委員) 献立の味付けについて、色々な味付けにチャレンジされていると思いますが、シンプルな味付けにしてもらえたらと思います。

(委員長) 学校によっては、生徒と給食センターで交換ノートをやっているのですが、やっていない学校も交換ノートを通じて、給食センターに意見をお伝えできれば良いと思います。

(事務局) 交換ノートでも同じ献立で良い評価と悪い評価があり、みんなが100点の献立というのは難しいので、苦手な食材でもおいしく食べられる献立を考えたり、苦手なものでも挑戦してもらいたいという思いがあります。ご家庭でも是非ご指導をお願いしたいと思います。

②連絡事項等

(事務局)

- ・協議事項の「令和8年度の学校給食費について」の具体的な方針についてお示しできる段階になりましたら、各委員に資料を送付し、意見等を徴取させていただきます。
- ・「中学校給食食材納入業者の指定」について、学校給食センターでは2年ごとに食材納入業者の登録を行っており、今年度に令和8年度・9年度の納入業者の登録を行う予定で今後、市報や市ホームページで納入業者の募集を行います。次回の会議で登録業者の指定について協議いたします。
- ・次回の第3回の開催は2月10日(火)15時30分からを予定しています。

第1回小平市立学校給食共同調理場運営委員会次第

日 時 令和7年11月18日(火) 15:30～

場 所 小平市立学校給食センター 会議室

1 開会

2 議 題

(1) 報告事項

- ① 令和7年度1学期残食調査の結果について(資料1)
- ② 食物アレルギー対応について

(2) 協議事項

令和8年度の学校給食費について(資料2)

(3) その他連絡事項

(第3回運営委員会開催予定)

令和8年2月10日(火) 15:30 ～ 場所: 学校給食センター会議室

全校平均残食率

調査期間: 令和7年度(1学期)

	学校名	月	日	曜日	残食率(%)	5日間の 平均残食率 (%)	5日間の 合計残食量 (kg)	5日間の 合計配食量 (kg)
B コース	一中	6	23	月	8.1	5.3	78.7	1481.7
		6	24	火	8.9			
		6	25	水	1.1			
		6	26	木	4.6			
		6	27	金	3.6			
A コース	二中	6	23	月	8.3	5.6	104.8	1809.6
		6	24	火	2.7			
		6	25	水	6.9			
		6	26	木	2.9			
		6	27	金	7.4			
B コース	三中	6	23	月	10.6	8.4	205.0	2374.8
		6	24	火	15.9			
		6	25	水	3.3			
		6	26	木	6.3			
		6	27	金	5.8			
A コース	四中	6	23	月	17.9	11.3	220.4	1910.8
		6	24	火	8.1			
		6	25	水	11.6			
		6	26	木	5.4			
		6	27	金	13.4			
A コース	五中	6	23	月	16.3	9.0	194.3	2105.5
		6	24	火	8.0			
		6	25	水	7.1			
		6	26	木	3.7			
		6	27	金	10.0			
B コース	六中	6	23	月	6.7	5.5	112.8	1920.9
		6	24	火	12.5			
		6	25	水	1.5			
		6	26	木	4.6			
		6	27	金	2.4			
A コース	上水中	6	23	月	17.3	11.5	121.8	1046.0
		6	24	火	10.3			
		6	25	水	14.4			
		6	26	木	2.3			
		6	27	金	13.2			
B コース	花南中	6	23	月	10.4	9.1	175.8	1881.5
		6	24	火	14.3			
		6	25	水	4.6			
		6	26	木	10.4			
		6	27	金	5.9			

8校の平均配食量(kg) 1816.4

(①)

8校の平均残食量(kg) 151.7

(②)

8校の平均残食率(%) 8.4

(②/①×100)

令和8年度の学校給食費について

1 現状について

(1) 学校給食費の改定

令和6年度、食材料費の急激な値上がりに対応するため10年ぶりに約19.5%の増額改定を行った。

学年	平成17～25年度	～令和5年度	令和6年度～
小学校1・2年生	226円	236円	282円
小学校3・4年生	238円	250円	298円
小学校5・6年生	250円	265円	316円
中学校全学年	280円	300円	358円

(2) 学校給食費の無償化

令和6年度、小平市立小・中学校に在籍する児童・生徒の給食費完全無償化を実施した。また、今年度についても、引き続き、給食費の無償化を実施している。

なお、併せて、食物アレルギー等により1つの学期を通じて学校給食を全く喫食できずに給食代替弁当を持参する児童・生徒を対象に補助金の交付を行っている。

(3) 物価高騰への対応

今年度、生産コストの上昇等様々な要因により学校給食の食材料費の上昇が続いていることから、市立小・中学校給食費会計に学校給食食材料費高騰臨時対策補助金（給食費の約6.9%相当額）を交付し、学校給食の質を維持している。

学年	給食費（本則）	補助額	給食1食単価
小学校1・2年生	282円	19円	301円
小学校3・4年生	298円	20円	318円
小学校5・6年生	316円	21円	337円
中学校全学年	358円	24円	382円

2 令和8年度の学校給食費について

(1) 学校給食費の無償化の検討

令和8年度の学校給食費無償化の実施には、国や東京都からの補助金の交付が前提であるため、現在、補助金の動向について注視している。

(2) 物価高騰への対応

令和6年度に給食費の増額改定を行い、今年度は物価高騰対策として、給食費会計に臨時対策補助金を交付しているが、現在もなお、下表のとおり、給食食材料費の値上がりが続いており、令和8年度についても、給食費単価の増額改定や補助金の交付を行うなど対策が必要な状況となっている。

【中学校給食における主な食材料費の動向】

品目	令和6年度	令和7年度	増加率
米 10kg	3,260円	6,030円	85.0%
食パン（包装）1個	54.5円	59.38円	9.0%
豚ひき肉 1kg	830円	980円	18.1%
液卵 10kg	3,320円	5,600円	68.7%